

やまのべ 議会だより

創る、繋ぐ。子どもたちが誇れるまち

2019 **1**
平成31年1月29日発行
No.103

やまのべ
議会だより

2019年1月号 VOL.103



いい音
でるかな～♪

- より良い町づくりをめざして！ 政策提言書を提出 2
- 12月定例会 4
- 特集：学校給食センター 6
- 町政のここはどうする？ 一般質問 8
- 新しい町への挑戦 議会活動報告 15

町ホームページで
議会中継を
発信中!!

発行／山形県山辺町議会
編集／広報常任委員会
Eメール：gikai@town.yamanobe.yamagata.jp
〒990-0392 山形県東村山郡山辺町緑ヶ丘5番地
TEL.023-667-1117 FAX.023-667-1118



●発行／山形県山辺町議会 ●編集／広報常任委員会
〒990-0392 山形県東村山郡山辺町緑ヶ丘5番地 ○印刷／藤庄印刷



第4回定例会

ニット議会開催

～お気に入りのニットで、町をPR～

議員と町幹部職員が町特産のニットを着用し、和やかな雰囲気の中、熱い議論を交わしました。

表紙の説明



「ハーモニコンサートin子育て広場」が、12月19日大寺公民館で行われました。
「えまぐゆ」の方々の演奏に子どもたちの目も輝き、おもちやのチャチャチャでは一緒に手拍子も。最後に楽器を自由にさわらせてもらい、なかなか触れることの出来ないハーブに子どもたちも興味津々。きれいな音色を楽しんでいました。
幼少期にさまざまな楽器に触れることは、とてもすばらしいこと。将来演奏者になる人も出てくるのではないのでしょうか。その時には、また子どもたちに素敵な音色を聞かせてほしいと思います。

編集後記

亥

あけましておめでとうございませう。
十二支の第十二・亥は「目標に向かってまっしぐらに突き進む」と言われております。議会だよりも分かりやすく「目標にまっしぐら」。広報委員一同、奮闘してまいります。さて、今年五月には「新元号」に改められます。穏やかな心で迎えたいと思っております。
今後とも皆さまの声をお聴きして、明るい町づくりに活かしてまいりますので、ご指導・ご協力をお願い申し上げます。
伊藤恭子記

- 発行責任者
議長 齋藤 邦彦
- 広報常任委員会
委員長 遠藤 真由美
副委員長 本田 四志子
委員 本 藤 昭彦
委員 神 保 裕
委員 伊藤 恭子

◎町ホームページから、議会だよりが閲覧できます。

<http://www.town.yamanobe.yamagata.jp/>

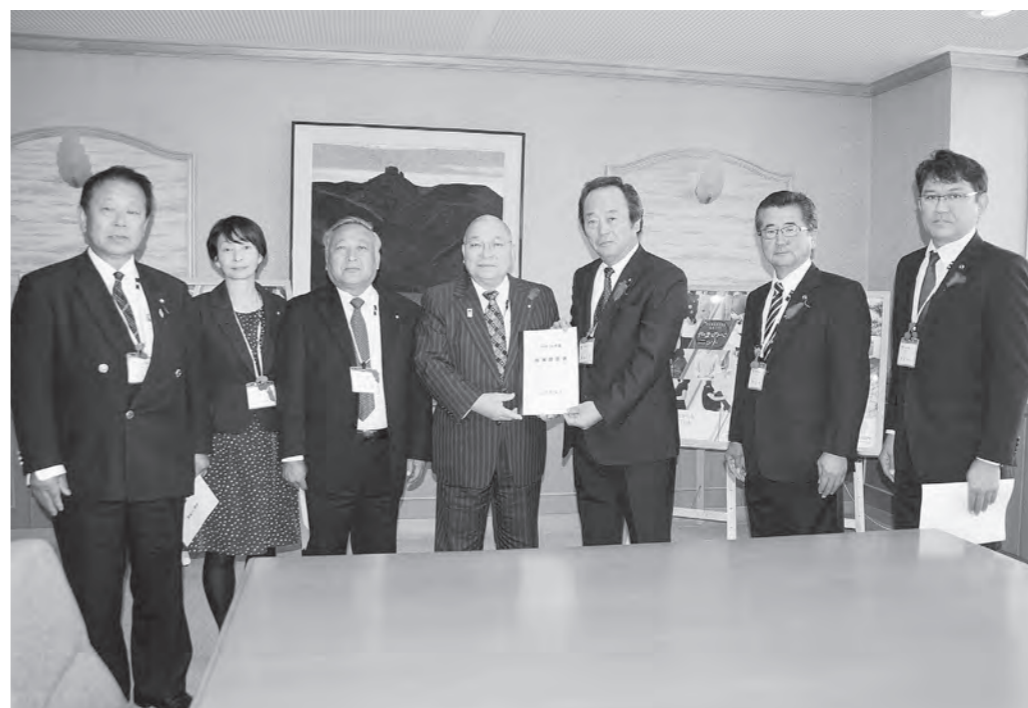


政策提言書を提出

より良い町づくりをめざして！

町の政策が発展的、効率的に行われるよう、総務文教常任委員会、厚生産業常任委員会、広報常任委員会それぞれ議論し、検討してきた政策の方向性を「提言書」として取りまとめ、11月5日齋藤邦彦議長から町長へ提出しました。

(※内容を変えず分かりやすい表現にしています)



◎地域の絆を深め、防災力の向上を

全国的に大きな災害が多発する中、町民の安全を守るためには、地域の絆や助け合いの心を深めることが重要である。そのためには、災害に強い町を目指す必要がある。ブロック協議会や自主防災会の機能を高め、緊密な連携による地域防災力の向上を図ること。

◎有害鳥獣被害防止策の強化を

有害鳥獣による農作物への被害（特にイノシシ）が急速に増え続けているため、被害防止策のなお一層の強化を展開すること。

◎健康増進への取り組み強化を

健康増進および子育て支援などに施策を講じているが、さらに若年層を対象にした事業も展開し、医療費などの抑制に努めること。

◎コミュニティバスの利用促進を

コミュニティバスの利用者数が年々減少している。町民の身近な足として料金・フリー区間なども含めた改善を図ること。

◎観光振興で魅力あるまちづくりを

第5次山辺町総合計画に相応しい観光事業の推進のために、高品質な特産品や工業製品などの情報発信力の向上と来訪者に対する体制整備などを

含めた観光振興計画を早急に策定すること。

◎持続可能な財政運営を

財政の健全化に向けて限られた財源を最大限に活かすため、行財政改革をさらに推進し、引き続き持続可能な行財政の運営を図りながら施策の展開に努めること。

◎職員の職場環境見直しを

職員の業務負担も増加しており、事務事業の見直しとともに仕事に対する意欲と能力を十分発揮するために、心身の健康管理や職場環境の改善と対策を講ずること。

国道458号改良促進特別委員会

道路・歩道整備の早期実現を議員全員で要望

当議会議員全員が鈴木県議会議員とともに12月14日、県庁の角湯^{かどゆ}県土整備部長と村山総合支庁の鈴木建設部長に道路改良の要望をしました。内容は、主要地方道山形朝日線山辺工区「上宿十字路から大寺西之表間」の拡幅と「子どもたちのための通学路」の歩道整備。また山形市・上山市の通勤および産業道路として非常に交通量の多い国道458号大寺工区の「大寺小学校北側バイパス工事」の早期整備促進について両部長に窮状と課題を説明し、早期に道路改良を促進していただけるようお願いしました。



県土整備部長に要望書を提出



建設部長に要望内容について説明している様子

子どもたちが健やかに 学習できる環境を 山辺小・相模小学校に 空調設備を整備

第4回定例会
12月5日～7日

議案審議

◎条例の一部改正

・町医療給付金支給条例の一部改正

県医療給付事業補助金交付規程の一部改正に伴い、制度の公平性を保つ観点から、町医療給付金支給条例についても所要の改正を行うなど、必要な法令整備を実施するもの。

・町地域福祉基金条例の一部改正

平成3年度に「町地域福祉基金」制度を創設し、3900万円を積み立て、その後の積み増しや利息などの運用益を助成金として活用してきましたが、近年の低金利により運用益も減少し、31年度以降も雪下ろし助成や高齢者配食サービスなどの事業補助を継続推進するため、基金の取り崩し限度額を2900万円に改正するもの。

特別会計補正予算

会計名	理由	本年度予算額
公共下水道事業特別会計	工事請負費の差額などにより歳入・歳出それぞれ379万円を減額	総額 5億471万円
簡易水道等特別会計	西黒森・楢実沢・摂待地区の飲雑用水供給施設の配水管路が漏水、杉下地区の飲料水供給施設の揚水ポンプが故障し、安定した水道供給を図るための修繕費などとして130万円を追加	総額 2520万円

第2回臨時会

11月5日第2回臨時会において、伊藤議員が厚産業常任委員、広報常任委員並びに行財政調査特別委員に選任されました。

新議員紹介

皆さまの暮らしが「幸せ」と感じられるよう頑張ります。

伊藤 恭子
地区 大門町5丁目



請願

請願名	ライドシェアの導入に反対し、安全・安心なタクシーを国に求める意見書の提出について
請願者	一般社団法人山形県ハイヤー協会 会長 石川 康夫 全国自動車交通労働組合連合会山形地方本部 執行委員長 遠藤 英二
趣旨	ライドシェア（自家用車を利用した有料の相乗りなど）は利用者の安全・安心に極めて大きな懸念がある。公共交通維持発展に向け総合的な諸施策を講ずること。
紹介議員	安達 春彦
結果	全員一致で採択



平成30年度・一般会計補正予算
2億1973万円を追加し
総額を 54億460万円 とする

主な事業

- *小学校管理事業…………… 1億9900万円
小学校空調設置事業設計業務委託料・工事請負費（山辺小、相模小学校に整備）
- *障がい児通所支援事業…………… 700万円
障がい児通所支援に係る給付事業による利用者の増加により増額
- *社会福祉一般事業…………… 170万円
福祉灯油購入費等助成事業
低所得の高齢者世帯、障がい者の居る世帯、ひとり親世帯に対し、5千円を限度として灯油購入費などの一部助成
- *子育て支援事業…………… 129万円
教育・保育給付費（利用者増による）
認定こども園や小規模保育施設などへの利用者の増加による実績見込みにより増額

定例会のあらまし

第4回定例会が、12月5日から7日まで3日間の会期で開催され、6名の議員が一般質問を行いました。医療給付金支給条例の一部を改正する条例の制定、地域福祉基金条例の一部を改正する条例の制定、30年度山辺町一般会計補正予算、山辺町公共下水道事業特別会計補正予算、山辺町簡易水道等特別会計補正予算など5議案を原案どおり可決しました。また、請願1件を採択しました。



学校給食センター

より専門的に、より安全な給食を子どもたちへ



給食センターの現状について説明を受ける

総務文教常任委員会

平成30年度より学校給食調理業務を、民間事業所（株式会社東洋食品）に委託したことから、11月13日総務文教常任委員と議員希望者で給食センターを視察しました。

受託業者は、これまでのパート職員についてそのまま雇用を継続。さらに町内より雇用を増やし、センター所長と栄養士を合わせ15名で運営を行っています。調理を実施する厨房は、委託前からドライ方式でありましたが、委託後は床を濡らさない徹底した指導によりすぐにモップでふき取るなど、動きやすい靴でできびきびと働いていました。食中毒など衛生面には特に気を使っており、調理工程で肉や野菜を取り扱う担当

者ごとにエプロンを色分けし、作業が変わるごとに手洗いとエプロンを着け替えるなど工夫しながら調理していました。

このようなきまざまな取り組みにより、安全かつ軽快に作業でき、以前にも増して清潔感も向上したようです。今まで以上に衛生的な環境のもと安全な給食が児童・生徒に提供されており、調理委託したことによる成果が表れていました。

給食センター視察後は、町立大寺小学校に伺い、全学年の児童と一緒に給食の時間を過ごしました。「一番好きな給食のメニューはなに？」など会話しながら交流を深め、美味しい給食をいただきました。



つや姫ご飯、玉ねぎと厚揚げの味噌汁、牛乳、舞米豚（まいまいとん）の青椒肉絲、野菜のおかか和え



人気メニューは、豚骨スープと中華麺、鶏肉のレモン風味、たたきごぼうのから揚げ、ちくわの照り煮など



美味しい給食で山辺町内での食べ残しは本当に少ないそうです



築28年が経過しているセンターですが、工夫を重ねて調理しています



特集

健康長寿

めざせ100歳 長寿の町 町民健康キャンペーンを

(町長) いつも笑顔でいられるよう 健康指導などの広報に力を入れる



武田啓一郎

質問 人生100歳時代も、夢から現実味を持てる社会になっている。超高齢化社会を、現役で元気に暮らしていく。最も気掛かりなのが、健康をいかに維持していくかだ。かつて、地方の農村部では、疾病の第一番が塩分の取り過ぎによる高血圧、脳卒中だった。いま町で、最も課題としている生活習慣病と対策は。

質問 健康寿命をいかに平均寿命に近づけていくかが、保健事業を展開するもの、使命と考えている。最も課題としている生活習慣病は、糖尿病。国保データでは、糖尿病の受診割合が、県内1位。しかし、糖尿病性腎症の合併症は32位で、重症化は多くない。対策として、『減ら sugar 教室』などを開催し、今後も重症化予防に向けた事業を検討していく。

質問 健康の自己管理で町民に一番取り組んでほしいことは何か。最近、血管年齢測定器などのPRを目にするが、町保健セ

質問 健康の自己管理で町民に一番取り組んでほしいことは何か。最近、血管年齢測定器などのPRを目にするが、町保健セ



一番人気は、ラージボール卓球 (大寺健康エンジョイクラブ)

質問 町民には、まずご自身で運動などを健康に留意していただき、健康診断や精密検査を受けていただきたい。測定器は町の施設には設置していない。国保でレンタルし、健康教室で使っている。今後、設置を考えていく。

質問 町民には、まずご自身で運動などを健康に留意していただき、健康診断や精密検査を受けていただきたい。測定器は町の施設には設置していない。国保でレンタルし、健康教室で使っている。今後、設置を考えていく。



納豆、豆腐、発酵食品、きのこ... 不老長寿の食はなんだろう

質問 減ら sugar (へらすがー) 教室...体重も砂糖(シュガー)も減らすことを表現しています。

質問 減ら sugar (へらすがー) 教室...体重も砂糖(シュガー)も減らすことを表現しています。

※1 減ら sugar (へらすがー) 教室...体重も砂糖(シュガー)も減らすことを表現しています。
 ※2 CI運動...コーポレートアイデンティティー運動(会社組織などで、個性・目標の明確化と統一をはかり、内外にこれを印象づけるための組織的活動。)



町政の一般質問 ここはどうする?

一般質問は、議員が町の行財政や将来に対する考え方などを問い、適切な町政運営を進めているかチェックするものです。山辺町議会では、年4回の定例会で議員が一般質問をしています。

傍聴しませんか 次回の定例会は3月です。お気軽にお越しください。電話 023-667-1117(議会事務局)

12月定例会では、6人の議員が一般質問を行いました。

- 武田啓一郎** **健康長寿** めざせ100歳 長寿の町 町民健康キャンペーンを
- 本田四志子** **教育環境** 共生社会に向けて小中学校に「手話」の学習時間を
- 安達 春彦** **施設運営** 山辺町の指定管理者制度に対する取り組みは
- 遠藤真由美** **防災教育** 「防災合宿」で子どもと共に地域の防災力アップを
- 神保 稔** **農業振興** 今年の町の農業情勢と今後の主な取り組みは
- 斉藤 昭彦** **安全・安心** 災害に強いまちづくりとは

町ホームページで
議会中継を
発信中!!

一般質問は一問一答方式ですが、紙面の関係で主な質問と答弁を要約して掲載しています。

一般質問

施設運営

山辺町の指定管理者制度 に対する取り組みは

(町長) 総合的な評価を実施した上で、制度の運用を図っていききたい



安達 春彦

質問 その事業計画において具体的に

営が行われ、利用者サービスの向上、管理運営費の縮減が行われている。

答弁 例えば山辺温泉保養センターにおいて、個室利用者への食堂割引券の発行や老人クラブなどへ食事付き割引入浴券の発行など、各施設それぞれが事業計画に沿って運営が行われ、利用者サービスの向上、管理運営費の縮減が行われている。

質問 平成15年9月2日、改正地方自治法が施行され、民間事業者など幅広い団体にも包括的に代行させることができる『指定管理者制度』が導入された。山辺町では平成18年度からこの制度を導入しているが、制度適用前後でどのような変化が見られたか。

日、改正地方自治法が施行され、民間事業者など幅広い団体にも包括的に代行させることができる『指定管理者制度』が導入された。山辺町では平成18年度からこの制度を導入しているが、制度適用前後でどのような変化が見られたか。

営がなされているのか

出された「事業計画書」に沿って施設の管理運営がなされているのか

はどのような評価指標を設定し、評価を行い、総括を行っているのか。



制度活用で利用者サービスの向上を図る

質問 一方で、事業運営で立て続けに赤字になる施設もある。各諸費用や予算を再度根本から見直す必要もあるのではないかと、施設事業で採算を取るためには集客が重要であり、さらに町の集客力を高め交流人口を増や

である。各担当課が調査分析をし総合的に評価を行っている。全ての指定管理者においておおむね目標達成がなされており、適正に管理運営を行っているかと判断している。

すことは、山辺町の戦略の一つでもある。例えば、指定管理者が持つ運営力と町が持つ企画力を組み合わせ、共に施設を使ったイベントを行うなど、町も協力しながら事業推進することは検討できないか。

答弁 山辺町で事業運営している方からも助言をいただきたいと考えている。

私たちが共に目指している姿は「みんながつながる 協働のまち やまのべ」そのサブタイトルは「未来につなぐ 自慢のまち」である。山辺町はこの制度をさらに一歩推し進め、指定管理者・自治体・町民が協働しよりよくしていくことが目指すべき姿ではないか。今後この制度の利用についてどのような方針を考えているのか。

答弁 効率的な管理運営が期待できる施設については、指定管理者制度への移行を検討していきたい。

よりよい運営に向けて(指定管理者・自治体・町民が協働を)



よりよい運営に向けて(指定管理者・自治体・町民が協働を)

教育環境

共生社会に向けて小中学校に「手話」の学習時間を

(町長) 手話に関心を寄せ障がい者に思いを馳せるような温かい町づくりを目指す



本田四志子

質問 障がいの有る人、無い人も分け隔てなく、住んでいる地域の中で自然に寄り添い共に生きていけるように：と国は平成28年4月から障がい者差別解消法を施行、県も手話言語条例を施行している。当町も共生社会に向けて小中学校に「手話」の学習時間を設けたらどうか。

ず、社会全体で創造し音楽や生活を通し手話を学んだり関心を寄せたりして、障がい者に思いを馳せるような温かい町づくりを目指す。

質問 東南村山管内でインクルーシブ教育システムを実現している学校は。

特別支援学級も増えており、現在は全ての学校に障がいを持つ児童も共に学ぶ環境が

答弁 当町での話になるが、中学校に車椅子の生徒がいたが



特別な教科「道徳」も実施され、手話の学習が出来るようになれば...

質問 町内小学校には障がいを持つ児童はいるのか。

育っている。学校で経験できたことはお互いにいい学びで、インクルーシブ教育は良い教育と思っている。

答弁 特別支援学級も増えており、現在は全ての学校に障がいを持つ児童も共に学ぶ環境が

質問 言葉は覚えていないが話せない聴覚障がい者はいるのか。

増えてきている。

答弁 町内にも県立聾学校で学ぶ児童生徒がいる。共生社会の実現に向けて、手話教育は現場でも取り組みねばならない大切な課題だと考えている。

質問 今後、共生社会に向けたどのような教育活動を展開していくのか。

特別な教科「道徳」では小学校は来年度から実施。調べたところ、当町で採択した道徳本にはさまざまな場面で障がい者への理解を深める題材が多くあった。特に4年生では「レンジャー物語」や「手話のあいさつ」などのコーナーがあり、より理解が深められると思っている。今後、学校長にも伝え、共生社会の実現ができるようにしていきたい。



支えあいの精神を育む教育現場

※インクルーシブ教育…「包容する教育制度」の意味。障害のある人と、障害のない人が共に学ぶ仕組み。

農業振興

今年の町の農業情勢と今後の主な取り組みは

(町長) 持続可能な農業に向けた振興計画を策定する



神保 稔

質問 8年連続特A「つや姫」と最上級特A「雪若丸」の作付

回答 青色申告が加入要件。町内の対象経営体は43で、現在4経営体の加入申請である。

質問 農家の新たな「加入保険制度」への加入申請状況は。

回答 販売経路が多岐にわたり、具体的な額の把握には至っていない。今後、生産者や関係機関と情報交換や情報収集を行い、的確な状況の把握に努めていく。

質問 台風や天候不順により農作物がさまざまな影響を受けたが、今年度の農作物の販売見込み額は。

回答 販売経路が多岐にわたり、具体的な額の把握には至っていない。今後、生産者や関係機関と情報交換や情報収集を行い、的確な状況の把握に努めていく。

質問 「つや姫」は、30年度より26経営体で約48ha、31年度は26経営体で約49ha。「雪若丸」は、30年度は3経営体で約2ha、31年度は9経営体で約7haと見込まれる。

回答 「つや姫」は、30年度より26経営体で約48ha、31年度は26経営体で約49ha。「雪若丸」は、30年度は3経営体で約2ha、31年度は9経営体で約7haと見込まれる。



台風21号によるラ・フランスの落果被害

質問 大玉さくらんぼ「山形C12号」の作付け計画は。

回答 27経営体が登録し、希望本数は317本であるが、県全体で希望本数が生産見込み数を上回り調整が必要となっている。

質問 農業情勢に的確に対応した町独自の農業振興計画の策定は。

回答 生産者や関係機関とさまざまな

質問 就農者の高齢化と担い手不足、圃場の集約化などが課題に挙げられる。解決に向けて関係機関が一体となって取り組んでいる。

回答 就農者の高齢化と担い手不足、圃場の集約化などが課題に挙げられる。解決に向けて関係機関が一体となって取り組んでいる。



青年農業者連絡協議会の現地研修 (フルーツランド白根グレイプガーデン 新潟市)

質問 若手農業者、担い手農業者の生産現場での課題は。

回答 就農者の高齢化と担い手不足、圃場の集約化などが課題に挙げられる。解決に向けて関係機関が一体となって取り組んでいる。

質問 場面意見交換を行い、より効果的な事業を展開している。さらに基幹産業である農業の持続的な発展に向けた中長期の農業振興に関する計画の策定に努めていく。

回答 場面意見交換を行い、より効果的な事業を展開している。さらに基幹産業である農業の持続的な発展に向けた中長期の農業振興に関する計画の策定に努めていく。

質問 今年度より歌手 峯田和伸氏を「ふるさと観光大使」に委嘱し、全国各地に町特産品の観光宣伝など町の魅力発信を強力にお願いしている。今後は、多方面でご活躍している町出身者の方々にもお願いし、さらにお力添えをいただくことも検討していきたい。

回答 今年度より歌手 峯田和伸氏を「ふるさと観光大使」に委嘱し、全国各地に町特産品の観光宣伝など町の魅力発信を強力にお願いしている。今後は、多方面でご活躍している町出身者の方々にもお願いし、さらにお力添えをいただくことも検討していきたい。

防災教育

「防災合宿」で子どもと共に地域の防災力アップを

(町長) 近江地区「防災キャンプ」の取り組みを各地区自主防災会に紹介し、方向性を考えていく



遠藤真由美

質問 ここ数年、全国で自然災害が多発しており、わが町でも地震、豪雨災害、大雪、竜巻などはいっ起ころかわからない。町の防災対策はもろろんだが、住民自らが災害に対する知識や心構えなどを学び、一人一人が防災意識を高めることが重要である。

回答 最近では、子どもたちの防災意識の向上や生きる力の育成に「防災キャンプ」や「防災合宿」に取り組む自治体が増えている。町内でも「防災キャンプ」に取り組んでいる地区があるようだが、今年度から開催されなくなった「通学合宿」に代わる取り組みとして、夏休みの一泊から始めてみるかどうか。



平成30年度近江自主防災会と近江っ子クラブ共催「防災キャンプ」

質問 「通学合宿」は教育委員会が平成20年度より事業を実施してきたが、参加児童の授業への影響、アレルギーや感染症対策、行財政改革による事業精査などを総合的に判断し、平成29年度で事業を終了した。防災教育の観点に立った「防災キャンプ」は、近江公民館の体験教室「近江っ子クラブ」の活動の一つとして取り入れ、近江地区自主防災会との共催で2回実施している。このような形で「放課後子ども教室」などに類するメニューの一つとして考えていくことは可能であるが自主防災会の協力が不可欠である。

回答 「通学合宿」は教育委員会が平成20年度より事業を実施してきたが、参加児童の授業への影響、アレルギーや感染症対策、行財政改革による事業精査などを総合的に判断し、平成29年度で事業を終了した。防災教育の観点に立った「防災キャンプ」は、近江公民館の体験教室「近江っ子クラブ」の活動の一つとして取り入れ、近江地区自主防災会との共催で2回実施している。このような形で「放課後子ども教室」などに類するメニューの一つとして考えていくことは可能であるが自主防災会の協力が不可欠である。

質問 地域で「防災合宿」に取り組むたいとなった場合には、避難所である各公民館で宿泊の許可は出るか。

回答 「防災キャンプ」で悪天候の場合には室内ということも想定されるし、自主防災会との共催で公民館事業となれば宿泊は可能である。



防災すごろくで学ぶ子どもたち (平成29年度近江っ子クラブ防災キャンプ)

質問 自主防災会連絡協議会は設立して6年とのことだが、各ブロック協議会の構成組織の一つとして組み入れられないか。

回答 今後、組織形態をブロック協議会ごとの組織に組み入れることも検討し、危機管理体制の強化を図っていく。

一般質問

(町長) 災害時に効果を発揮する対策を講じる



斉藤 昭彦

質問 町長は安全・安心で災害に強いまちづくりと云うが、各地区避難所への備蓄品の配備はいつ頃をめぐりに行っていくのか。

答弁 町では、昨年12月策定した「第5次山辺町総合計画」のまちづくりの3つの柱の一つとして「協働と安全安心のまち」を掲げている。なかでも、災害時に効果を発揮する対策を講じていくなど、「災害に強いまちづくり」を今後ますます推進していかねければと考えている。

9月定例会後、町内で一番大きな避難所となる町民総合体育館の施設管理者である教育委員会と調整を図り、体育館の一部スペース

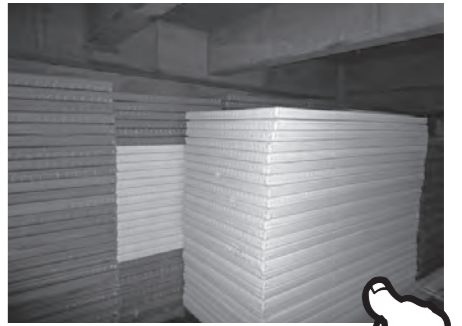
を備蓄品の収納スペースとして確保した。町の指定避難所は全体で26施設。その内民間施設を除くと17施設あるが、各施設の収納スペース不足や維持管理などの理由から現在も配備のめどは立っていない。



体育館に備蓄品スペースを設置

質問 現在ある備蓄品を各避難所へ配備をするとしたら、人口割りで配備をするのか、決まっている事があれば提示してほしい。

答弁 各避難所へ早期に備蓄品の配備を考えているが、配分については決まっていない。今後、自主防災会などを検討していきたい。



避難所用として備えた量

質問 山辺中学校体育館に設置している丸管について

答弁 体育館に設置してあるステンレス丸管(避難所用間仕切りロープ張り)の使用目的、管理について教えてほしい。

答弁 東日本大震災時、体育館内にロープを張って布で間仕切りをしていた避難所があったことから、ロープを張れるように設置した。その後、段ボールや紙管、布を使っている間仕切りができるようになり、災害時応援

質問 段ボール間仕切りの研修などは自主防災会の方を対象に進めるのか。

答弁 簡易ベッドが間仕切りと併用にもなるが、防災訓練などで講習を行っていく。

県都山形に近いことをプラスに考え、希望もてる山辺に 商工会役員との懇談会

懇談会が12月14日開催され、役員改選でフレッシュな方々が増えた中でさまざまな意見が出ました。

その中で「若い後継者の育成を促し、研修・勉強をさせていただき感謝している」「消費税増税にともなうキャッシュレス決済でのポイント還元や、低所得者に対するプレミアム付商品券の発行などさまざまな増税還元対策に悩める小規模事業所も多いので、政府に対してしっかりと要望してほしい」という意見が出されました。

各部会から次のような意見がありました。

- ・商業 プレミアム付商品券の発行を継続していただいているおかげでプレミアム以上の効果があった。
- ・工業 高品質なものづくりをアピールしながら



商工会役員と議員懇談会

山形広域クリーンセンターの設備を 長期的に考える 広域環境事務組合(秋田)視察

山形広域環境事務組合議会議員で、11月19・20日秋田市汚泥再生処理センターと総合環境センターの視察研修を行いました。

今回視察した秋田市汚泥再生処理センターは、平成25年より高度な技術設備で処理をしており、し尿、浄化槽汚泥を濃縮、脱水して助燃材に再生。また、その際の分離液は希釈して下水道放流するなど、



秋田市汚泥再生処理センターで説明を聞く

新しい町への挑戦

タブレット端末の導入に注目

朝日町議会との懇談会

両町議員懇談会が11月12日、朝日町で開催されました。
 研修としてNPO法人エコミュージアム協会の理事長の長岡信悦氏より「地域の資源を発見し、磨き、宝物にするエコミュージアム」と題して講演の後、八ッ沼地内を案内していただきました。
 協議事項では、災害時における議会の災害対応や、議会活動の活性化について話し合いました。
 特に9月定例会よりタブレット端末を導入して議案書などのペーパーレス化に取り組んでいる朝日町議会では実際に使い方を教えていただき、今後当町で導入の必要性を考えさせられる会となりました。



ペーパーレス化で経費削減を目指したタブレット端末の導入

隣接市町で連携した有害鳥獣対策を

中山町議会との懇談会

両町議員懇談会が12月11日に開催され、「信頼と安心のエネルギー回収施設」として地域に根ざして12月1日より供用開始された上山市川口地域のエネルギー回収施設で、担当者の説明を受けながら視察を行いました。
 その後、町内において両町の懸案事項であるイノシシ・ハクビシンなどによる農作物への鳥獣被害と駆除対策などの取り組み状況について意見交換を行いました。現在では各町で独自に対策をすすめていますが、今後は隣接市町が緊密な連携のもと、各町などに駆除対策の広域化を求めていくことになりました。



駆除対策を進める猟友会メンバー

財政状況分析のための学習会

行財政調査特別委員会

① 7月23日
 ・行財政調査特別委員会の今後の進め方について検討しました。
 ② 10月18日
 ・山形県企画振興部市町村課より平成29年度決算にみる山辺町と県内市町村の財政状況説明
 ・財政状況を分析する際の着眼点について学習しました。
 ③ 11月14日
 ・山辺町総務課より、山辺町の財政状況について説明を受けました。
 今後も引き続き委員会を開催し各方面にわたって検討していきます。



行財政特別委員会

町の発展と活性化につながる仕事を

町建設業協会役員との懇談会

厚生産業常任委員と町建設業協会役員との懇談会が11月9日に町内で開催され、建設業界の活動状況をはじめ空き家問題などについて意見交換をしました。特に空き家問題では、使える空き家、使えない空き家を区別すること。地元協会のリフォームに対する知見をより深めていくこと。大学生など若者のアイデアを取り入れ、借す・売るを展開すること。そしてこれらをもって人口減少への対策と、町の活性化につなげていけるのではないかと、多くの意見が出されました。



住みやすい郷土づくりへ

また冬季入ったの除排雪も含め安全・安心を第一に、労働災害の防止に努めていただきたいと思いますとお伝えしました。建設業協会の方々へ安全・安心な町づくりに寄せる意欲を感じた懇談会となりました。

大雨時の冠水解消

厚生産業常任委員会

大雨時には何度も冠水する三河尻地区内の排水路整備工事の現場を12月7日視察し、工事状況などについて担当者より説明を受けました。
 三河尻地区をはじめ周辺地域に著しい被害を及ぼす要因でもありました排水路の整備工事は昨年度から事業に着手し、勾配調整や大雨時の排水に向けた新たな水路の整備などと、県道の埋設ヒューム管からの落ち溜め柵の改修や、勾配調整のための工事が施工されました。これに伴い大雨時の冠水解消と安全な通行が図られることを期待します。



工事現場視察の様子

イベント情報

イベント	場所	期日	内容	問合せ
山形市 蔵王樹氷まつり	蔵王温泉スキー場	3月3日(日)まで	1千人松明滑走、冬のHANABI、樹氷ライトアップなどの多彩なイベント	蔵王樹氷まつり協議会 Tel 023-647-2266
上山市 加勢鳥(かせどり)	上山城～市内	2月11日(月・祝)	五穀豊穡と商売繁盛、火伏を祈る冬の風物詩。	上山市観光物産協会 Tel 023-672-0839
中山町 だんご木市	上町通り	2月18日(月)	だんご木のほか、出店も立ち並び賑わいます。豚汁の振舞いもあり。	中山町観光協会 Tel 023-662-2114